

花 6月～8月	シソ科	
ウツボグサ		
<p>北海道～九州の山地の草地に自生。草丈は10～30cmで走出枝を伸ばし、下唇の裂片が細かく切れ込んだ紫花を咲かせる。花後の枯れた花穂が、矢を収納する空穂という武具を思わせることから、その名がついた。</p>		
花 6月～10月	ツユキサ科	
ツユクサ		
<p>日本各地の畑地や道ばたに自生している。茎の下部は地面を這い、多くの直立した枝を分ける。花は3弁花だが、そのうちの大きな青い2枚が目立つ。古くはこの花びらの絞り汁を染料に用いていた。ツユクサという名前のほかにアオバナ、ボウシバナという別名もある。</p>		
花 8月～10月	ユリ科	
ヤマジノホトギス		
<p>山野によく生える。茎の長さ30～60cmで、斜め下向きの毛がある。葉にもまばらに毛がある。花は茎頂と葉脈に1～2個ずつつく。花被片には赤紫色の斑点があるが、ホトギスに比べて少ない。</p>		